



山王ペットクリニック院長

(富山市上三杉)

大霜 唱治

「うちの子、太ってますか?」おやつはよく食べるんですが、フードをあげても食べないんです」「トイプードルだから体重は3キ以下にしてくださいといわれたんですが…」「フードはどれだけ与えればいいんですか?」

これらは日々の診察の時によく聞かれる質問です。今回は体形やフードの量への疑問について考えてみましょう。

まず体形への疑問についてです。「おやつはよく食べるがフードはあまり食べない」ケースについては、比較的若い子と高齢な子では少し意

「肥満かも」と思ったら



肥満なのか確認するために触れるのは肋骨と腸骨

味合いが異なるかもしれません。高齢の場合は、何か潜在的な病気があ

るかもしれませんから、一度病院を受診されることをお勧めします。若い場合、受診する前に肥満にな

胸と腰に触れて確認

適正なのか、痩せているのかの判断は、実際に体に触れて確認します。

触れる箇所は胸と腰の2カ所。具

体的には左右の肋骨(あばら骨)部

と腸骨(骨盤の背中側)部です。肋

骨部は左右同時に手を置いて、前後

に動かした時に肋骨が容易に触れる

かどうかを確かめます。その際、強

く押さえてはいけません。背骨のす

ぐ横にある腸骨部は、薄い皮下脂肪

の下で触れるかどうかを確認しま

す。詳細な基準はありますが大まか

には、両部位とも容易に骨が確認で

きれば適正体重、確認できなければ

肥満、骨が浮き出ているようなら瘦

せすぎと判断します。

また同じ犬種でも先天的に骨格の

大小はあります。骨格の大きい子は

3キを超えてもトイプードルに変わ

りありません。安心して今まで通り

かわいがってください。

次にフードの量への疑問について

です。与えるフードの量を現在の体

重を基に決めてはいけません。なぜ

なら、今の体重が適正体重でないか

もしれないからです。当院では適正

体重、体形、生活環境、成長に応じ

た必要カロリーなどを考慮した上で

フードの量を決めています。フード

の袋に記載されている体重別給与量

をつのみにせず、生活環境に合った

量を与えるようにしましょう。

肥満は健康によくありません。か

わいいペットに長生きしてもらうた

めにも適正な体重を維持しましよ

毎月第1土曜掲載